

技術と信頼のトレードマーク



給水装置用（ダイヤフラム式）

# 減圧弁 NRD

## 13~25

減圧弁部はストレーナ付カートリッジ方式

- ストレーナが異物の流入を防止して器具を保護
- カートリッジ式で清掃・交換が容易



JWWA E-470

- 認証機関：公益社団法人日本水道協会 品質認証センター
- 適合性能：耐圧・浸出・耐久



株式  
会社

素敵な創造～人へ・未来へ

# 日邦バルブ

# 減圧弁 NRD

## 13~25



減圧弁カートリッジ



### ●メンテナンスが容易なカートリッジ式

減圧弁は、長期間性能を維持するため必要に応じたメンテナンスが必要です。このため、減圧弁部のみを取付け・取外しが簡単にできるカートリッジ式を採用しました。電球交換と同じ要領で脱着できるねじ込み式で、配管から取外すことなく交換やストレーナの清掃が行えます。

### ●ストレーナ付

減圧弁カートリッジにはストレーナが装着されており、通常使用時に弁座や二次側器具類を異物の噛み込みから防ぎます。

### ●洗管キャップ付

出荷時、減圧弁に付属しておりそのまま洗管や水圧検査ができます。ストレーナ機能を持ち洗管時に異物の流入を防止。洗管や水圧検査終了後、異物とともに取外します。このため減圧弁を清掃する必要がありません。



出荷時

### ●優れた耐久性

屋外設置を考慮した密閉構造。主要材質は耐食性に優れた鉛フリー青銅合金・ステンレス等、また、ダイヤフラムやディスク部には耐塩素性のゴム(耐塩素 EPDM) を使用しており、耐久性に優れます。

### ●小型・軽量で、メータ二次側や止水栓等に直結できます。

### ●減圧弁設置後、減圧が不要になった場合でも、減圧弁カートリッジを取外しキャップを取付けるだけで対応でき、配管を変える必要がありません。

## 仕様

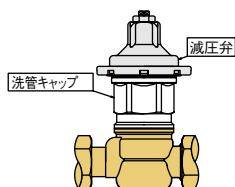
|                     |                 |                               |              |
|---------------------|-----------------|-------------------------------|--------------|
| 使用流体                | 水道水 (常温)        |                               |              |
| 一次側圧力               | 1.0MPa 以下       |                               |              |
| 二次側標準設定圧力           | 0.2・0.25・0.3MPa |                               |              |
| 二次側圧力調整範囲           | 0.15 ~ 0.3MPa   |                               |              |
| 出荷時の二次側設定圧力許容差範囲    | +20<br>0 kPa    |                               |              |
| 定格流量 (差圧 0.1MPa 以上) | 13 : 30L/min    | 20 : 50L/min                  | 25 : 85L/min |
| 弁箱耐圧                | 1.75MPa 以下      |                               |              |
| 接続                  | 一次側             | 平行めねじ (統一ねじ・普通ねじ) によるユニオンナット付 |              |
|                     | 二次側             | 平行おねじ (統一ねじ・普通ねじ)             |              |

### ⚠ 注意

●仕様の範囲内でご使用ください。範囲外での使用は、機能低下や破損の原因となります。

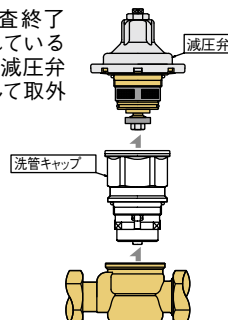
## 洗管キャップの使用法

1 必ず洗管キャップを付けた状態 (出荷時の状態) で、洗管と水圧検査を行ってください。

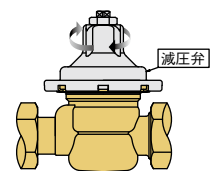


⚠ 洗管キャップを外し減圧弁が直接付いた状態で洗管と水圧検査を行うと、減圧弁の機能に支障をきたす恐れがあります。

2 洗管と水圧検査終了時、ねじ込まれている洗管キャップと減圧弁を手で左に回して取外します。

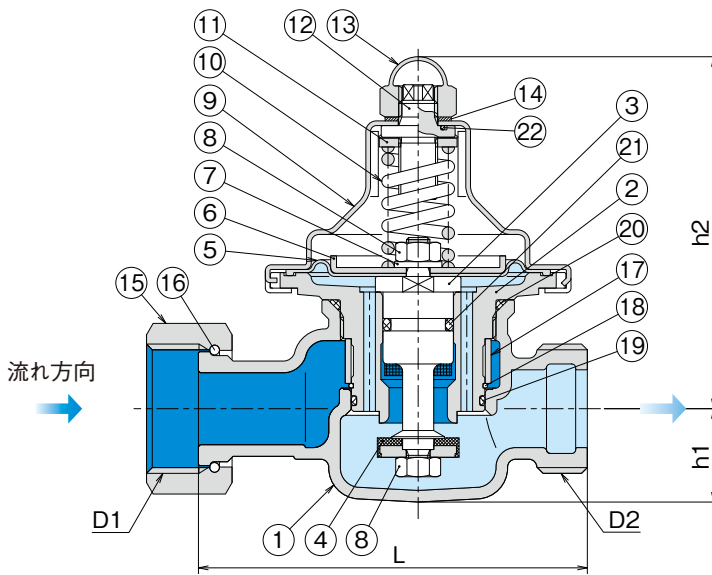


3 洗管キャップを取外した状態の減圧弁を、手で右に回して直接ねじ込みます。



⚠ すき間があかぬ様、十分にねじ込んでください。

## 構造



■主要部品表

| 品番 | 部品名      | 材質                  | 品番 | 部品名     | 材質           |
|----|----------|---------------------|----|---------|--------------|
| 1  | 本体       | CAC911              | 12 | 調整ねじ    | CAC406C      |
| 2  | シリンダ     | CAC911(フロンコーティング)   | 13 | 六角袋ナット  | SUS          |
| 3  | スピンドル    | 鉛レス青銅連铸棒            | 14 | ナットパッキン | PE           |
| 4  | ディスク     | 耐塩素EPDM<br>鉛レス青銅連铸棒 | 15 | 袋ナット    | CAC406C      |
| 5  | ダイヤフラム   | 耐塩素EPDM             | 16 | 直結リング   | C5191W       |
| 6  | センターディスク | SUS304              | 17 | ストレーナ   | PP<br>SUS304 |
| 7  | ばね座金     | SUS                 | 18 | 止めリング   | SUS304-WPB   |
| 8  | 六角ナット    | SUS                 | 19 | Oリング    | NBR          |
| 9  | カバー      | SUS304              | 20 | Oリング    | NBR          |
| 10 | ばね       | SWP-B               | 21 | Oリング    | NBR          |
| 11 | ばね受け     | SPCC                | 22 | Oリング    | NBR          |

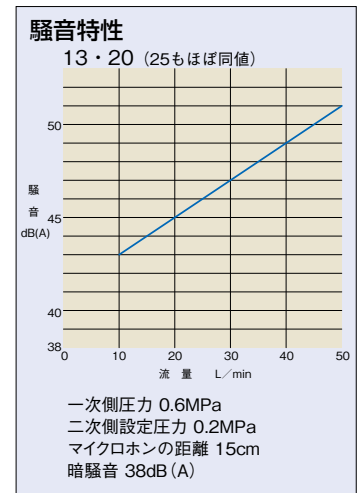
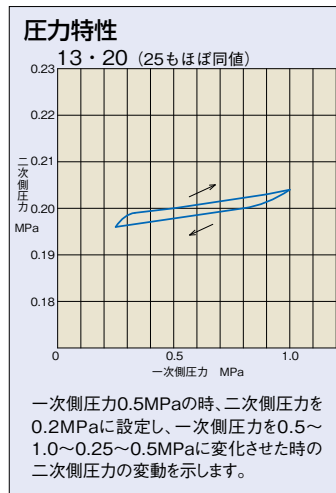
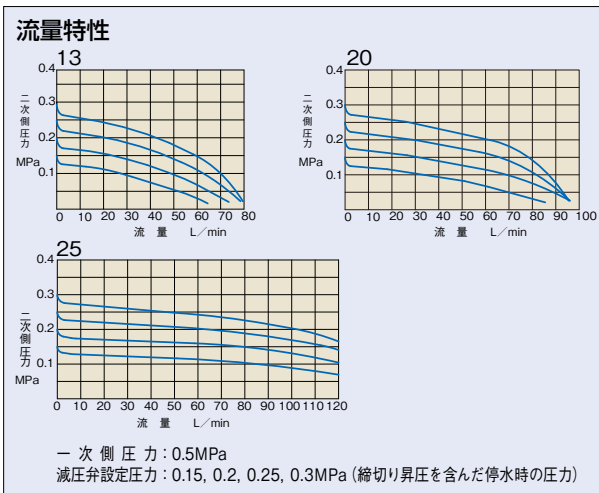
■主要寸法表

| 記号<br>呼び径 | L*  | h1 | h2   | D1     |                 | D2     |                 |
|-----------|-----|----|------|--------|-----------------|--------|-----------------|
|           |     |    |      | 統一ねじ   | 普通ねじ            | 統一ねじ   | 普通ねじ            |
| 13        | 80  | 24 | 90.5 | G 3/4  | W25.8 $\phi$ 14 | G 3/4  | W25.8 $\phi$ 14 |
| 20        | 100 | 24 | 90.5 | G1     | W33.0 $\phi$ 14 | G1     | W33.0 $\phi$ 14 |
| 25        | 120 | 45 | 122  | G1 1/4 | W39.0 $\phi$ 14 | G1 1/4 | W39.0 $\phi$ 14 |

\*面間寸法 L は、YN 式減圧弁 NRV13~25 と同様です。

## 性能

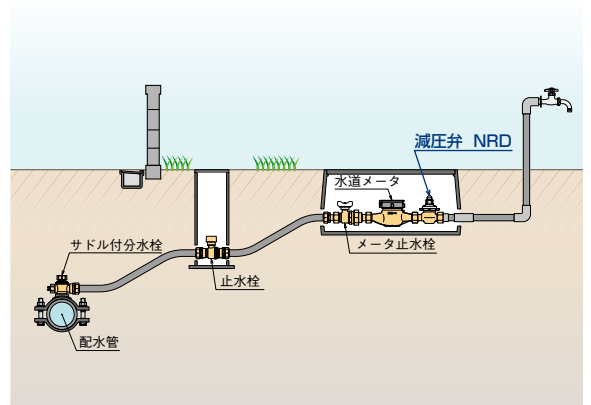
- 耐圧：1.75MPa 異常なし。
- 耐久：10 万回作動後、異常なし。
- 浸出：浸出性能試験により水質基準に適合
- 流量・圧力・騒音特性は下記グラフを参照



## 取付け・取扱い方法

- 保管は直射日光や雨水を避け、器具の内部にごみやほこりが入らないようにしてください。
- 取扱中、器具の落下等に注意してください。損傷によって漏水や故障の原因となります。
- 減圧弁を取付ける前に必ず洗管し、異物等を十分に除去してください。
- 本体に鋳出しされた矢印を、流れ方向に合わせて配管してください。
- 必ず洗管キャップを付けた状態（出荷時の状態）で洗管と水圧検査を行ってください。尚、洗管キャップはストレーナ機能を持ち、洗管終了後、異物とともに取外します。（前ページ「洗管キャップの使用法」をお読みください。）
- 凍結が予想される場合には、保温等の凍結防止策を施してください。凍結は漏水や故障の原因となります。
- 解氷作業等での直火での加熱は、漏水や故障の原因となりますのでおやめください。

配管例

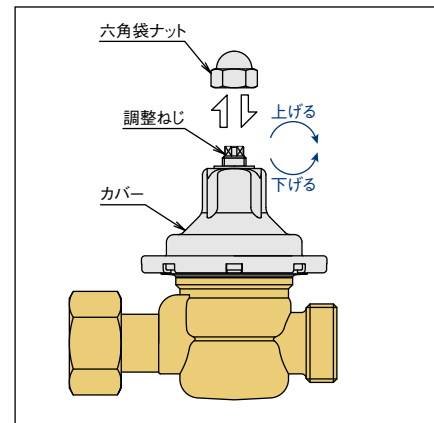


## 減圧弁 NRD 13~25

## 減圧弁 二次側圧力の調整方法

減圧弁は原則として、工場内でご指定の二次側標準設定圧力に設定された上で出荷されます。但し減圧弁設置後、設定圧力を変更する必要がある場合には、次の手順で行ってください。

- 1 カバー上部の六角袋ナットをレンチ等で緩めて取外す。
- 2 調整ねじのつまみを回して調整し、圧力を設定する。右へ回すと圧力が上がり、左へ回すと下がります。調整の目安としては、1回転で約0.03MPa変動します。
- 3 目安とする回転数を回した後、必ず二次側に設置されている給水栓等を2~3回開閉して二次側圧力が安定し、目標の設定圧力になっているか、圧力計で確認する。
- 4 目標の設定圧力になるまで2、3を繰り返し、微調整する。
- 5 六角袋ナットを取付ける。

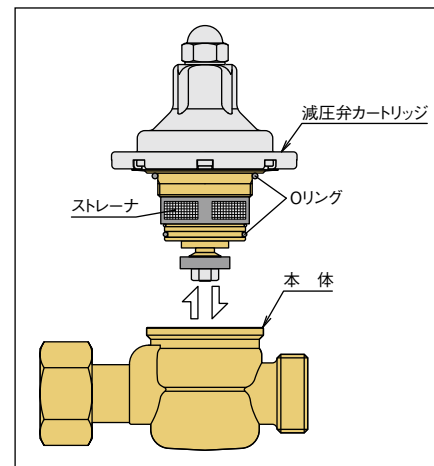


## メンテナンス

減圧弁を常に正常に作動させ、また、性能を維持させるためには適切な保守点検が必要です。減圧弁部（カートリッジ式）の交換や、ストレーナ清掃等の必要が生じた場合には、次の手順で行ってください。

## 〈減圧弁カートリッジ交換の手順〉

- 1 一次側に設置されている止水栓等を閉栓する。
- 2 二次側に設置されている給水栓等を開け、配管内の圧力を抜く。
- 3 減圧弁部はカートリッジ式のため、電球交換と同じ要領で手で左に回して取外す。（手で回らない場合は、レンチ等を使用して回してください）
  - ★減圧弁カートリッジを取外す際、図のOリングが本体に残っていないことを確認してください。
- 4 交換品に、砂・ゴミ等が付着しないよう注意し、また、所定箇所にOリングが装着されていることを確認した上で本体に挿入し、手で右に回してしっかりねじ込む。（レンチ等は使用しない）
  - ★無理にねじ込むとねじ山をつぶしてしまい、取付けできなくなります。確実にねじを嵌合させてから、すき間があかぬ様十分にねじ込んでください。
- 5 一次側に設置されている止水栓等を開栓し、漏水等の異常のないことを確認する。



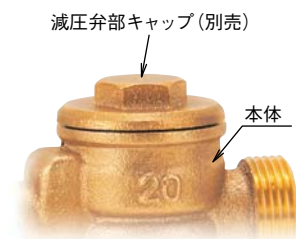
## 〈ストレーナの清掃〉

減圧弁カートリッジを取外し、ストレーナに付着している異物を歯ブラシ等を使用して取除いた後、再び本体に取付けます。カートリッジの取外し・取付けは上記「減圧弁カートリッジ交換の手順」を参照。

尚、本体内部に異物が残存している場合は、減圧弁カートリッジを取外した後二次側給水栓等を閉め、一次側止水栓をわずかに開けて水圧により排出してください。

## 〈減圧弁設置後、減圧が不要となった場合の対処方法〉

減圧弁カートリッジを上記「減圧弁カートリッジ交換の手順」に従って取外した後、本体のカートリッジ取付け部に減圧弁部キャップ（別売）を取付け、しっかりねじ込んでから使用してください。



素敵な創造～人へ・未来へ

本社・松本工場 〒399-8750 松本市笹賀3046  
 北海道工場 〒059-1362 苫小牧市柏原6-120

<http://www.nippov.co.jp/>

## お問い合わせ先

|        |                  |                  |        |                  |                  |
|--------|------------------|------------------|--------|------------------|------------------|
| 東京支店   | TEL.03-5338-2231 | FAX.03-5338-2230 | 松本営業所  | TEL.0263-50-5221 | FAX.0263-50-5222 |
| 札幌営業所  | TEL.011-232-0471 | FAX.011-208-2260 | 名古屋営業所 | TEL.052-735-6511 | FAX.052-735-6510 |
| 仙台営業所  | TEL.022-213-3177 | FAX.022-213-3266 | 大阪営業所  | TEL.06-6354-1057 | FAX.06-6355-2213 |
| 北関東営業所 | TEL.0283-22-7547 | FAX.0283-20-1069 | 広島営業所  | TEL.082-232-8117 | FAX.082-232-8053 |
| 神奈川営業所 | TEL.042-741-7121 | FAX.042-765-7157 | 福岡営業所  | TEL.092-472-5128 | FAX.092-477-2057 |